

# スクラム

2019. 12. 3 No. 9

## 幸福の法則

毎日楽しく過ごすには「笑い」が効果的です。日常生活に笑いを取り込むことで、免疫力がアップし、がんや認知症予防に大変効果があります。笑うためには、自分の興味のあることをすれば笑顔になれると思います。音楽評論家の湯川れい子さんは、「自分の不幸や成功できないことをいつも誰かや何かのせいにして」と気づき、幸福の法則として、「あいうえお」の心得を考えました。「あ」は会いたい人に会う、「い」は行きたい所へ行く、「う」はうれしいことをする、「え」は選ばせてもらう、「お」はおいしいものを食べるです。「え」について考えてみると、例えば、朝起きる時間や何をするかについても、自分で選ばせてもらいたいと、湯川さんは言います。これは言いかえると『自分で責任をもって行動する』ということであり、『自分が選んできた結果が今の現実なんだということを受け止めなさい』ということだと思います。

私が西條中学校にいるときも、皆さんが朝起きて学校へ来て生活しているときも、いつ、どのように行うかを自分で選んで行動しています。自分で選んで行動するからには、責任をもって取り組みたいものです。勉強や部活動の試合等で失敗して、人のせいにするのではなく、自分を見つめることが必要だと思います。自分の目標を達成できたか、やり残したことはないかなどを振り返ることは大切です。

私には、海外で働いて生活するという夢があり、実現に向けて頑張っています。生徒の皆さんも、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」で職場体験をして、働くことの大変さを学びましたが、好きなことだったら、つらくても頑張れると思います。好きだからこそ、自分で選んだからこそできると私は信じています。この「あいうえお」の法則を心に留め、やり残しのないように過ごしたいと思っています。

まもなく年末年始を迎えますが、お子様を将来に向けて毎日を大切に過ごしていけるよう、ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。

## 12月の生活目標 礼儀正しくしよう

- ・近所の人・先生・友達に心を込めた挨拶をしよう。
- ・正しい言葉遣いを心掛けよう。



## SNS 使用の危険性について

便利なコミュニケーションツールとして、中学生の間でツイッター、インスタ、TikTok等のSNSが使われていますが、その使用が深刻な問題につながる場合があります。先日、大阪府の小学6年生がSNSを介して知り合った栃木県の男性に誘拐された事件は、皆さんもご存じだと思います。


西條中学校においても、ネットへの配慮のない書き込みが原因となる友人間でのトラブルが起きています。

生徒には、傷つける側にも、傷つけられる側にも、決してなってほしくありません。ご家庭でのお子さんのSNSの使用状況はいかがでしょう。少しでも心配な様子が見られれば、その使い方、内容について、一度親子でしっかりと話し合ってください。



西條中学校には、スマホ、ネット、ゲーム等のルールがあります。

- ①食事中や会話中は使用しない
- ②写真や動画をネット上にアップしない
- ③人の嫌がることは書き込まない（訴訟問題になったり、罪に問われたりする）
- ④個人情報を書き込まない
- ⑤課金サービスを利用しない（利用する場合は保護者の同意を得る）
- ⑥学校の課題に取り組んでから使用する  
（使用は午後10時まで、平日は1時間以内、家の人がいる場所で）

保護者の皆様にも、その趣旨を十分にご理解いただき、生徒が勉強や学校生活に十分打ち込めるように、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 12月の行事予定

- 4日(水) 西條デー
- 6日(金) 新入生入学説明会  
西條デー
- 9日(月) 西條デー
- 13日(金) 西條デー
- 16日(月) 氷見市巡回美術展(～20日)
- 18日(水) 球技大会
- 19日(木) 書初練習会  
大掃除
- 20日(金) 給食最終日  
保護者会(14:00～)
- 23日(月) 保護者会(9:00～)
- 24日(火) 終業式、西條デー
- 25日(水) 午前:西條デー  
冬季休業(～1月7日)
- 29日(日) 学校閉庁(～1月3日)

### 保護者会

- ・20日(金) 23日(月)
- ・詳しい時間については担任からお知らせします。

### 書初練習会 19日(木) 3・4限

道具の準備をしておいてください。  
 <準備物>  
 大筆、小筆、文鎮  
 墨入れ、墨汁、書初め用下敷き  
 新聞紙1日分、ビニールシート  
 ゴミ入れ用ビニール袋

※練習用紙12枚は学校で準備しますが、それ以上必要な場合は各自で準備してください。

※ 1月8日(水) 始業式、給食開始、書初大会

## 栄光の記録

○第62回氷見市駅伝競走大会

男子	西條中学校 A	1位
女子	西條中学校 A	1位
男子1区		1位
男子2区		1位
男子3区		1位
男子4区		1位
男子5区		2位
女子5区		3位

○富山県中学校選抜大会

1位	男子ハンドボール(Bブロック)
1位	女子ハンドボール(Bブロック)

○第17回北信越中学校軟式野球交流会魚津大会 2位 野球部

○県中学校ジュニアオリンピック陸上競技大会

共通男子1500m	3位
-----------	----

○花と緑のポスター原画コンクール 佳作




## テキスト学習を始めます

先日お知らせしたように、テキストを活用した学習を計画しています。

中学校生活が始まり、1年8か月が過ぎました。これからは、自分の進路選択（準備、選択、決定）に向けての1年4か月となります。しかし、「自分の進路選択に向けて」と言われても、いったい何をすればよいのかと不安になる生徒も多いと思います。現在、学力に不安がある人も、これから行うテキスト学習を実践していけば、中学校1年からの5教科の学習をすべて復習することができ、受検に対する基礎学力が身に付いていきます。テキストは、中学校3年間の学習内容を教科ごとに1冊にまとめてある、解説付き入試対策用問題集「新研究」です。

はじめは大変かもしれませんが、継続して頑張ってくださいと思います。



### <テキスト学習のねらい>

- ◎これまでの学習の総復習を行い、希望する進路に対応する基礎学力を付ける。
- ◎家庭での「自主学習」の習慣を身に付ける。

### <テキスト学習の進め方>

- (1) 5教科のテキストを進度表に沿って、毎日家庭で学習します。
- (2) 進度表は定期的に配布します。進度表に沿って学習すれば、3年の受検までにテキストに2～3回取り組み、確実に学力が身に付きます。必ず提出し、点検を受けることとします。
- (3) 前日、学習したテキストノートは翌日の朝学習の時間に担任が点検します。朝学習の時間に点検を受けられなかった場合は、放課後の補習に参加します。
- (4) 定期的に課題テスト、実力テストを行い、自分の学習内容の定着度を確認します。



## 「社会を明るくする運動」公開ケース会議

11月12日（火）



私は、犯罪はよくないことだと知っていたけれど、悪いと分かっていて罪を犯すのはもっと駄目だと思いました。相手をけがさせて、さらにお金も盗んでいたのもっといけないと思いました。「ひったくり」を誘われても、最初から断るべきだと思いました。話を聞いて、今後、犯罪防止への意識が高まるといいです。

1組

僕は、罪を犯すと重い罰を受けなければいけないということを、改めて知ることができました。今回、「ひったくり」についての事例を聞き、「50万円以下の罰金、もしくは、10年以下の懲役」の罰を受けなければならないということを知り、驚きました。僕は、幸夫のように、悪いことをしようと誘われても絶対断わる勇氣ある人になりたいです。

1組

僕は、法律に興味をもちました。1つの事件について、個人だけでなく、グループでも考えることによって、いろいろな見方や考え方もつことができました。また、警察と被害者のロールプレイを見て、さらに考えを深めました。犯罪はいけないことだというのはわかってはいたけれど、どうだめなのかということや、処罰についても詳しく知ることができました。犯罪は絶対に犯してはいけないということを念頭に置いて過ごしたいです。

2組

法律にとっても興味をもちました。悪いことをしたら罰を受けるのは当たり前ですが、罰にはいろいろな種類があり、人や内容によっても違うということを知りました。裁判官の仕事は、とても大変な仕事ですが、一般の人たちも参加して決めることがあることが驚きました。今回の事例のように、私たちの身の回りでも、悪い誘いをする人たちがいるかもしれないので、勇氣をもって断ることが大切だと感じました。

3組

もし自分が悪いことをしたら、自分だけが罪に問われるのではなく、被害者加害者両方の家族や親戚にも大きな被害が出るので、絶対にはいけないと思いました。罪を犯した後の人生にも大きな影響を与えたいと思います。罪を犯したら、少年院送致や保護観察になることもあるので、僕はこれからの自分の人生の中で、よく考えながら行動していきたいと思います。

3組



中学生でもひったくりをすると罪になることを知り驚きました。少年の罪を何にするかについて班で話し合ったとき、僕たちの班では、最後まで少年を保護観察にするか、少年院送致にするかで意見が分かれ、発表する直前までずっと迷っていました。人の罪を決めるということはとても難しいことが分かりました。

4組

私たちの班は、少年を保護観察にするか、少年院送致にするかで、意見が分かれてしまいました。何に注目しているかによって全く違った判断になってしまうので、実際の裁判ではどのような判決になるのか気になりました。一度だけの犯罪でも多くの罰金や重罪で人生が変わることも分かりました。私は、少年のようにならないよう、正しい意志と勇氣をもって生活していきたいと思いました。

4組



## 「ひみっ子の夢と希望」講演会 「“挑戦”することの大切さ

～自分の可能性を信じてみよう～ 荒瀬 洋太さん  
富山市出身、シドニー五輪水泳競技日本代表

11月13日（水）

私は富山県から日本代表のオリンピック選手が出てすごいと思いました。オリンピック代表選手になるまでの道のりは大変だったと思いました。私はこれからの人生でくじけそうになるときがあると思います。しかし、先生のお話を思い出して頑張って生きていきたいです。水泳をやめた後、水泳とは全く違う、テレビのアナウンサーになられたのもすごいなと思いました。

1組

私が心に残ったことは、何事にも努力して取り組まないといけないということです。荒瀬さんはたくさん努力をされたからこそ、オリンピックという大きな舞台に立つことができたと思うので、私も頑張りたいと思いました。また、「隣にいる人を大切にしよう」とも話されました。今は分からなくてもいつか地元を離れたとき、何気なく当たり前のようにいた友達の大切さに気づけるような人になりたいと思いました。

2組

荒瀬さんは、小学生の頃は野球ばかりしていたのに、中学校に入ってから、水泳のコーチが怖くて、やめられなかったという理由だけで、水泳を頑張り、オリンピック候補にまでなられたので、とてもすごいなと思いました。荒瀬さんは、「友達を大事にしよう」、「自分を信じよう」とも言われました。僕は、自分を信じて、柔道を頑張りたいと思いました。試合前に緊張するときは、自分を信じてプレイしようと思いました。今日学んだことをこれからの日常生活に生かしていきたいです。

2組

僕は今まで「可能性」というものを信じていませんでした。しかし、今日のお話を聞いて、自分の可能性を探してみようと思いました。荒瀬先生は、「世界で一番努力した人がトップになれる」と言われました。僕は、まさにその通りだと思いました。他にも、よい緊張と悪い緊張というものがあると話されました。僕はいつもテスト当日に悪い緊張をしてしまうので、これからは、悪い緊張が起きないようにしたいです。

3組

私は荒瀬先生の挑戦をし続ける姿に感動しました。アナウンサーとして大事なことは相手の話をしっかり聞くことだと知り、それは私たちにも言えることだと思いました。相手の話をしっかり聞くことは、とても大切だとわかりました。様々なことに挑戦することは大切なことだと今回の講演で学ぶことができました。

4組

